

第1回 いわくに景観賞 受賞者



五橋文庫・住宅



イロハーブ

景観賞【まちなみ・まちづくり部門】



錦帯橋さくら守の会



周東古代ハスの会



ボランティアグループ 玖珂ユウキの会

奨励賞【まちなみ・まちづくり部門】



亀山つつじ愛好会



岩国を盛りあげる会
(中央通りを活性化する会)



砥石川・清霧の滝
自然公園づくりの会



岩国吉川六万石こぬかの盆
実行委員会

市民に岩国市の景観を身近に感じ、意識・関心を深めてもらうことを目的とした「いわくに景観賞」の表彰式が、1月26日に市役所で行われました。

この賞は付近の景観を引き立たせる建造物、良好な住環境や自然環境を守り育む活動などに携わる人々を表彰するもので、昨年6月に募集し、建造物部門とまちなみ・まちづくり部門で各7件の応募がありました。

岩国市景観まちづくり委員会による評価・選考の結果、建造

第1回いわくに景観賞決定

物部門では、歴史的なまちなみのイメージを特徴付ける建造物群や、地域の景観に新しい可能性を広げる施設群が表彰され、まちなみ・まちづくり部門では、横山周辺のサクラの手入れ、古代ハスの植栽整備、玖珂地域の登山道の整備など、公共性が高く地域の風景や環境を豊かにする活動が表彰されました。

受賞者の活動内容や講評などの詳細については、ホームページで紹介しています。

☎ 083-835-5006

市政 PICK-UP

岩国の景観を身近に感じて



▲表彰式に出席した受賞者

市民サービスの向上を図る

市職員が自らの業務を見直し課題を見つけ、より良い方法に変える取り組みを発表する「業務改善事例発表会」が1月12日、市役所で行われました。

民間企業からの特別審査員を含む審査員7人を前に、各部署から選出された11グループが改善事例を発表しました。

審査の結果、本庁の壁面などを利用して市内の芸術団体の作品を展示する、文化振興課の「市役所まるごと美術館計画」が金



▲庁内に作品を展示し、来庁者も気軽に芸術を鑑賞できる「市役所まるごと美術館計画」の事例

業務改善事例発表会

賞に選ばれました。

他にも小・中学校と博物館が連携して学芸員の出前講座の活用につながる事例や、職員が窓口業務で気付いたことを随時共有し、課全体で課題を解決していく事例などが紹介されました。この取り組みは、連携して課題を改善し、根気よく継続するという意味を込めて「岩国れんこん運動」と称し、発表会は今年で3回目の開催となります。

圃行政経営改革課 ☎295029



▲発表会はプレゼン技術の向上も兼ねており、職員は面をかぶるなど会場を楽しませるような工夫をした

アメリカソフトボール協会の関係者が1月23日〜26日に来岩し、絆スタジアムなどを視察しました。

24日は米国代表チームのディレクターと選手の3人が、愛宕スポーツコンプレックスの野球場エリアとロータスカルチャーセンターを訪問し、福田良彦市長から設備の説明を受けました。

25日は地元の小・中学生と交流し、中学生にスインングの指導をしたり、小学生に激励の言葉を伝えたりしました。

アメリカソフトボール協会のキャンプ地現地視察

ディレクターのクリス・セブレン氏は「岩国市はこれまで視察した施設の中で、1番素晴らしい環境。視察の内容を上層部にしっかりと伝えたい」と述べました。

市は、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて米国のホストタウンに登録されており、今夏に千葉県で開催される世界大会を含め、米国代表チームのキャンプ地に選ばれるよう誘致活動に取り組んでいます。

圃スポーツ推進課 ☎295103

米国のキャンプ地を岩国に



▲視察に訪れた米国代表チームのディレクター（右）と選手（中央2人）



▲交流の最後に、選手は小・中学生と握手をしたり、グローブなどにサインをしたりした